



消防だより

119

高齢者住宅における暖房器具からの出火防止

朝 晩の寒さが身にしみる季節を向かえ、ご家庭では暖房器具がフルに活躍されていると思いますが、「高齢者住宅からの出火防止」として、次の点に十分注意をしてください。
暖房器具の周りには燃えやすい物を近づけない。

一人暮らしの高齢者、又は身内の方と一緒に暮らしているものの、自室で移動式ストーブを使用している方は、謝ってつまづきストーブを転倒させることのないように、室内の整理整頓を常に心掛ける。



移動式ストーブの場合、「燃料の補給時」は必ずストーブを一旦消火してから行う。

寒さが厳しくなりますと、厚着をしようという傾向が見られます。厚着をしようとしてしまうと、熱がなかなか肌に伝わり難く、特に炊事などの作業時にはストーブに接近し過ぎて厚着によって鈍感になり、着衣着火の発見が遅れてしまうことがありますので、十分注意をしてください。

集中豪雨や台風への対策

気象情報は年々その予想精度が高くなっており、ゲリラ豪雨や台風についてより多くの情報をテレビやラジオ、インターネットで皆様に伝えていきます。これらの情報網を利用することにより自然災害からの被害を最小限に抑えることが出来ます。いざという時は自らが正しい情報に基づき、すばやく対応することを中心掛けましょう。
防災広報を聞く

早めの準備をする
電池(ライト)や携帯ラジオも活用
避難の判断は早めに

虹田小2年生 洞爺湖消防署を見学

9月10日(木)、2年生25名が洞爺湖消防署の施設見学に来庁



千葉司令から質問についての回答を聞く児童ら



通信司令室で119番受付装置などを見学

しました。事前に消防署へ出された質問について、洞爺湖消防署千葉司令から回答を得た後、通信司令室(119番受付装置及び地図検索システム)や洞爺湖消防署に配備されている水槽付消防ポンプ自動車や高規格救急車を見学し、車両には実際に搭乗することも出来ました。

消防署見学を通じ、消防署の仕事についてや防火思想の普及にお役に立てたかと思えます。

全道消防技術訓練大会へ出場

7月18日(土)に札幌市消防学校屋外訓練場にて「全道消防技術訓練大会」が開催され、洞爺湖消防署所属の加藤司令、鹿原好弘消防士、豊浦支署の齊藤智之消防士の3名が「ほふく救出」の部に出場しました。この

種目は2人の隊員が救助者となり、1人が空呼吸器を着装し、小綱と確保ロープを両足首に結着した後、煙道に進入その先にある要救助者を救出するまでの所要時間と迅速的確性が競われるもので、昨年から厳しい訓練を繰り返した成果が大会当日に発揮されました。また、「はしご登はん」の部に出場した豊浦



後列右から、加藤司令・鹿原消防士
前列右から、齊藤消防士・井嶋消防士

支署の井嶋消防士はブロック代表として8月20日(木)に横浜市で開催されました全国大会に出場しました。
今後も町民の皆様の生命・財産を守る為、日々活動して参ります。

統一標語
「火のしまつ
君がしなくて
誰がする」

fire

平成21年1月1日～
8月31日現在
火災件数 18件
救急件数 324件